

## T-31番 要約

(平成26年10月現在)

### 1 被害者

平成11年12月生。接種時中学1年生(12歳)、現在14歳。

### 2 ワクチン接種前の健康状態等

健康。花粉症だが、服薬はほとんどせず。欠席は年1~2回程度。中学入学当初はバスケットボール部に所属し、土日も練習や遠征。

### 3 接種

ガーダシル3回(平成24年9月24日、同年11月2日、平成25年3月18日)

### 4 経過概要

平成24年4月 学校で、地元の保健師からHPVワクチンについて説明あり。

夏頃 接種せずにいたところ、自治体から接種するようにとのハガキが届く。

9月 1回目接種(1回目は目立った異常なし。2回目後疲労感あり)

平成25年3月 3回目接種後に、部位が腫れ、かゆみが継続(病院でかゆみ止め処方)。

4月頃 毎日鼻血が出る。続いて、顔面蒼白、血圧低下、食欲減退、吐き気、激しい頭痛、過度の疲労感などの症状発現。

5月 白血病の疑いを持ち総合病院で検査するも、起立性低血圧との診断。

11月頃 接種した腕(左)が重くなり、痛みが出始める。

~ この間、体調が短期間で上下し、改善せず

平成26年4月 服薬しても効果がないほどの生理痛が始まる。自室で無言でボーっと座っていたと思うと、突然泣き出す。移動する痛み。

### 5 これまでに発症した主な症状

関節痛・移動する痛み・頭痛・背部痛、腰痛・疲労感・だるさ・心臓がドキドキする・めまい・気分がすぐれない、落ち込む・気力が出ない・不安感・異様に眠い・体重減少・痩せた・食欲減退・吐き気・激しい生理痛・低血圧・鼻血・顔面蒼白・腸の調子が悪い・情緒不安定

### 6 受診医療機関

3医療機関(内科、小児科、神経内科)

### 7 現在の生活状況

一応通学はしているが、体調によっては授業を受けられない日もあるため、勉強が遅れ気味。外出をしても、帰宅後の疲労感が激しく、倒れるように眠ってしまう。

### 8 救済制度の申請

申請していない。

## T-31番 母 (甲信越地方)

(2014年10月現在)

### 1 接種前の状態

私の娘は、平成11年生まれで、現在14歳です。

接種前の健康状態については、年1~2回風邪などで学校を休む程度で、大きな病気はもちろん、入院もしたことがない健康体でした。ここ何年かは、毎年4月や9月頃になると花粉症の症状が出ていましたが、薬を飲む必要もほとんどない程度でした。

娘は、中学校に入学してからバスケット部に所属し、毎日遅くまで練習していました。また、土日には試合のために遠征することもありました。遠征に行くときには、朝5時頃に起床するのですが、寝起きが悪いということもなく、自分できちんと起きて出掛けていました。

### 2 接種のきっかけ

娘は、中学校1年生の時に、平成24年9月24日、11月28日、平成25年3月18日の計3回、子宮頸がんワクチンのガーダシルを接種しました。

私が、このワクチンを知ったのは、保護者対象の学年集会の時でした。この集会は、娘の中学校入学後に開催されました。保護者が教室に集められ、地元の保健師からワクチンの説明を受けたのです。説明の内容は、子宮頸がんの死亡者数など、がんの怖さを伝えられた後、それを予防できるワクチンができたこと、通常は任意接種で金額が高いが、今なら自治体から助成が受けられること、期間を過ぎると助成が受けられないことなどでした。特に、お金のことについて大きく取り上げた説明だったという印象です。副作用についての説明はなく、今まで接種してきたはしかなどの予防接種と同じようなものだと思っていました。

私は、当時ワクチンのことを知らなかったので、「そんなにすごいワクチンができたのか。」と驚くとともに、「うちの子には、まだ必要ない。」と考えていました。

ただ、周囲の親が接種させると言っていることもあり、予防接種の予約だけはしようと診療所に行きました。その診療所では、私の娘が初めてのガーダシル接種者だったとのことで、看護師が手を叩いて喜んでいました。その時に、看護師に「大丈夫なのか。」と聞いたところ「大丈夫、大丈夫」と返事がありました。

もっとも、予防接種後の注意事項として、一般的に激しい運動ができないということでしたので、バスケット部の練習との関係でキャンセルをしてしまいました。その後、接種をしないままだったところ、夏頃に、自治体から未接種者に対するハガキが届きました。自治体からお知らせが来たので、私は、再び予診票を取りに行き、接種を受けさせることにしました。

### 3 1回目と2回目の接種

接種は、近所の診療所で行いました。1回目と2回目の接種の際に、ワクチンについての説明を受けたことはありません。

接種後、特に目立った症状はなく、娘は、腫れや接種部位の痛みについて、インフルエンザなどの予防接種と同じくらいだったと言っていました。

もっとも、2回目接種後の12月に、娘が、何もする気がなくなった、部活をやめたいと言いました。それ以前にも、バスケット部で遠征に行く際も、送って行く車の中で終始

「眠たい」と言っており、どうしたのだろう、とっていました。

#### 4 3回目接種直後から発現した症状

2回目接種後から、しばらく接種をしないでしたところ、自治体から「3月末までに接種しないと、補助金が出ない」「3回打たないと意味がない」というような内容のハガキが届きました。そこで、慌ててまた診療所に予約をし、平成25年3月18日に3回目を接種させました。

3回目も、痛みは今までと変わりはありませんでしたが、直後から強いかゆみができました。かゆみは2週間以上続き、1日中ボリボリとかいていたので、接種した診療所に連れていきました。医師は、特にワクチンのことには触れず、かゆみ止めを処方されました。

これで、かゆみが収まると思いましたが、直後から一気にさまざまな症状が出始めてきました。

まず、毎日昼夜を問わず、鼻血が出るようになりました。初めは、アレルギーのせいかと思っていたのですが、ティッシュペーパーで鼻を押さえても、すぐに血で真っ赤になってしまうくらい出血量でした。また、鼻血のせい、血の気が全くなく、顔面蒼白で、学校へ行っても周囲の友達や先生から心配されるようになりました。この頃は、ワクチンの影響だとは少しも思わず、娘が白血病になってしまったのではないかととても心配していました。

さらに、ハンマーで殴られたような頭痛が毎日起こり、食欲もなくなり始めました。食べないと体に悪いからと、無理に食べようとすると吐き気がひどくなり、結局、ほとんど口にできない状態が続きました。

そして、学校へ通っても、帰宅してからの疲労感が激しく、すぐに横になってしまうような生活をしていました。

今まで、特に大きな病気をしたこともなかった娘に、何が起きているのかと不安に思う毎日でした。

#### 5 1か月半経過後

3回目を接種してから1か月半ほど経過した5月の連休以降は、これらの症状に加えて、過眠の症状が出てきました。

以前は、朝5時に起きるときできえ、きちんと目覚めていたのですが、通常の時間になっても全く起きられなくなりました。私が、娘の部屋に起こしに行くと、今まで聞いたことのないようなガーガーといういびきをかき、白目をむいたような状態で寝ていました。やっと起こして、学校へ行っても、眠気がひどく起きていることができないため、2時限目から保健室で眠っていなければならない時もありました。その時も、いびきをかいて寝ている状態でした。

また、気持ちが悪くなり、吐き気も以前よりひどくなったため、給食も食べられなくなりました。学校給食では、残すことが難しいようでしたので、とてもつらい思いをしていたようです。その後、担任の先生に病状を話し、対応してもらえたので、娘も少しは気が楽になったようでした。

疲労感もさらに激しくなり、授業中に椅子に座って体勢を維持することも、全校集会などで体育座りをすることもできなくなりました。

この頃から、授業をまともに受けられなくなってしまったのです。

## 6 病院での検査

朝起きられなくなったことで、通学が困難になり、疲労感、ひどい頭痛や食欲不振・吐き気で日常生活を送ることも困難になりました。

そこで、総合病院の小児科を受診しました。以前から大量の鼻血が出ていたので、医師に対して、白血病かもしれないと伝え、血液検査をしてもらいました。娘は、病院の待合室でも座って待っていることができず、看護師さんの計らいで、隔離室のベッドで横になっていました。この時も、横になるなり、すぐにいびきをかいて寝てしまいました。その後、医師が来て、やっと採血室へ行ったものの、倒れこんでしまい、診察室に戻れずに、結果が出るまでそのまま採血室で寝続けていました。

検査の結果は、異常がなく、「思春期によくある起立性低血圧」と言われました。特に薬を飲む必要もなく、自然に治るとのことだったので、ひとまず白血病でないことに安心をし、帰宅しました。

しかし、症状が回復することもなく、通学は、家の車で学校まで送って行かなくてはならなくなりました。そして、やっとの思いで学校へ行ったとしても、体調が悪化して学校から呼び出しがかかり、迎えに行くことも多くなりました。帰宅後は、倒れこんでいびきをかいて寝てしまいます。娘は、その度に「疲れて死にそう」「眠くて目が開けられない」と言っていました。

このような状態では、まともに授業を受けることができず、勉強が遅れていってしまいました。娘は、このような状態になるまでは、まじめに授業を受け、宿題などもきちんとやっていました。私は、やりたくてもできない状況の娘を見ているのは、本当につらかったです。

## 7 4か月経過後（ワクチンの副作用の疑い）

7月になった頃には、両足首に関節痛も出始めていました。

私は、その頃から、娘の症状がワクチンのせいではないかと思い始めました。今まで見たことのない症状が、4か月くらいの間に次々と出始めており、ワクチン接種以外に今までと異なることをしたことはなかったからです。

私は、ワクチンで副作用が出た場合には、公共団体に窓口があるかと思い、連絡を試みたところ、特に設置されていないとのことでした。人に相談しようにも、周囲でワクチンを接種して具合が悪くなったという話を聞いたことがなかったので、私が娘の症状のことを話しても信じてもらえず、かえって嘘をついていると思われるかもしれないと思うと、なかなか話すことはできませんでした。また、この頃から、通学が困難になったので、車で送って行かなくてはならなくなり、日中も娘の体調が悪くなった時には、迎えに行かなくてはならなくなりました。私は、会社に勤めているのですが、会社にも娘の症状を話すことはできず、いつクビになるかもしれないという不安も抱えていたのです。そのような時、たまたま医師の友人に、娘の症状やワクチン接種のことを話したところ、窓口のある病院を知っているということでした。私は、すぐに連絡先を教えてもらい、7月9日に電話で予約をしました。予約日は7月末頃だったのですが、病院から連絡があり、「具合の悪いうちに診たい」ということで3日後に診察を受けることになりました。

当日は、血圧測定・MRI・血液検査を行いました。血圧は測定不能なほど低く、脳か

ら分泌される物質が出ていない、と言われました。しかし、私がワクチンの話をすると、「心配すぎるせいだ」とも言われました。

検査後に出された薬は、向精神薬等でした。しかし、服薬すると、眠くて起きていることができず、倒れるように寝てしまいました。量を調節して、半分にしても結果は変わらず、その薬をやめ、心臓の薬を飲むようになりました。

検査の結果、「起立性調節障害」と診断されました。ワクチン接種後の副反応との関連性もあるということで、副反応報告も出されたようです。

もっとも、ワクチンとの関連性があるという診断は出されましたが、娘の症状は改善しませんでした。日によって症状が軽くなったりすることはありましたが、1週間から10日ごとに体調に変化が現れ、とても安心していられる状態ではありませんでした。

また、11月頃からは、ピアノを弾く際に、接種した方の腕全体が重痛く、ピアノが弾けないと言い出し、半年ほど、腕が思うように動かなくなってしまう時期が続きました。

#### 8 約1年経過後（さらに新たな症状の発現）

これまでの間、まったく症状が改善しないまま、平成26年4月頃から、急に生理痛が激しくなりました。今までは、生理痛があったとしても、薬を飲むほどではありませんでした。しかし、4月頃からは薬を飲んでも効果がなく、起きていられないほどの痛みが起きました。また、経血の色も今までとは異なっていました。

さらに、太もも、足首、首、肩、腰などに、移動する痛みが発生し始めました。一旦痛みが出ると半日から1日は、痛みの移動に苦しんでいました。

#### 9 約1年4か月経過後（症状の悪化）

平成26年7月頃、再度症状が悪化してしまいました。

すぐに病院に行ったのですが、娘の症状がワクチンの影響だと知ってからは、薬剤を娘の体内に入れるのは躊躇するところであったので、栄養剤の点滴を打ってもらいました。

しばらくすると、娘は、最悪の状態からは少し落ち着いたのですが、看護師からは、「季節の変わり目だからでしょう」と言われ、医療関係者の理解のない言葉に親子ともに傷ついたのでした。

そして、この頃から、情緒不安定な様子が見られるようになりました。

ある日、私が仕事から帰宅しても、娘が居間にいないので、部屋をのぞいてみると、無言でボーっと部屋の中に座っていました。今まで、このような状態の娘を見たことがありません。私が驚いて、「どうしたの？」と聞くと、ボーっとしていたかと思うと、突然ワーワーと泣き出したのです。娘は、すぐに泣くような子ではなかったので、学校で何かあったのかと、心配し、少し落ち着いてから泣いていたわけを尋ねると、「何かあったわけではない。なんで泣いたか自分でもよくわからない、泣けて泣けて仕方がなかった」と答えました。

今までと異なる精神的な症状が出始めたことで、どうしてこんなことになってしまったのか、娘が元に戻らないのではないかと大変不安を感じていました。

#### 10 現状

夏頃の最悪の状態は脱しましたが、いまだに様々な症状が出ています。移動する痛み、異常な疲労感、情緒不安定、食欲減退、睡眠障害など、一見して他人に分かる症状でない

だけに、周囲の人に、本人や家族の苦しみが分かってもらえないのがとてもつらいです。

娘も、今まで普通に行っていた学校で授業を受けることや、給食を食べることなどができなくなったことが、非常につらかったのではないかと思います。

登校状況は、以前に比べると、休むことは少なくなりましたが、接種前の状態には程遠いです。夏休み前までは、毎日送迎が必要でしたが、少しずつ自分で歩いて学校に行くように頑張っています。

中学3年生になるにあたって、生徒会の候補者として推薦されたのですが、選挙演説当日も、眠気と疲労で起き上がれず、何とか午後の演説だけ出てほしいと、学校側に頼まれ、やっとのことで送って行くような状態でした。

また、4月には、娘がずっと楽しみにしていた修学旅行がありました。あらかじめ、友達には「うちの子は朝起きられないから、起こしてね。」とお願いしていたので、何とかみんなと一緒に参加できましたが、やはり睡眠障害や疲労感が激しく、バスの中ではほとんど起きていられず、同級生と行動するだけで精一杯だったようです。

さらに、娘は、今年、高校受験を控えています。昨年より欠席が多くなり、勉強についていけなかったため、現在、塾に通っています。娘は勉強がしたい気持ちがあるのですが、ひどい疲労感があるため、全部出席することはできていません。義務教育である中学校では、欠席をしても理解のある対応をしてくれています。しかし、高校に入ると、出席日数が足りずに留年、退学ということもありうるかと思うと、娘の将来がとても心配です。

また、私は正社員なので、頻繁に会社を休むこともできませんし、遅刻や早退もなかなかできません。できることなら一日中娘のそばにいて、少しでも良くなるように世話をしたいと思っています。経済状態からすると難しいことだと思います。今、会社には、娘がワクチンの影響で具合が悪くなっていることを話しておりますが、このままの生活が続くと、クビになってしまうかもしれないという恐怖もあります。

それから、娘は、現在、薬に代わるものとして生薬を飲んでいますが、これは、保険がきかず、かなり高額であるため、経済的負担が大きくなっています。祖母にも援助をお願いしなくてはなりません。

娘は中学1年生の3月に、高額なワクチンが無料になるからと、宣伝をされ、ワクチンを接種してしまいました。今まで、娘は、キャンプや登山に行き、体力を使い、夜遅くまで起きていたとしても、いつも元気一杯で帰宅していました。娘の健康だけには注意して育ててきたのに、突然このような状態になり、悔しい思いでいっぱいです。また、これまでの家族の生活も破壊されました。

早く治療法を確立し、長期的な補償と今までと同じ生活と健康な体を返してほしいと思います。加えて、ワクチンの被害を受けた子供たちが安心して学校に通えるように、欠席への対応や国民への周知を進めてほしいです。